

# 審議結果 令和5年第2回臨時会(3月31日)

## ■全会一致の案件

議案番号等	議案名 ( )内は議案の補足説明です。
28	令和5年度半田市一般会計補正予算第1号 <b>総務</b> ：若年がん患者在宅ターミナルケア支援事業実施のため、財政調整基金から繰り出しをするもの <b>文教</b> ：若年がん患者在宅ターミナルケア支援事業の実施に伴うものなど
29	半田市市税条例等の一部改正について (「地方税法等の一部を改正する法律」が、4月1日から施行されることに伴い、半田市市税条例等の一部を改正するもの)
30	半田市国民健康保険税条例の一部改正について (地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額を、法定限度額と同額に改めるもののほか、被保険者の均等割額、軽減判定所得の基準額等の改正を行うもの)
31	半田市印鑑条例の一部改正について (「電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律」の一部改正に伴い、コンビニ交付サービスにおいて、スマートフォンを使用し、印鑑登録証明書等を取得することが可能となるため、本市の条例の一部を改正するもの)

## ■その他の案件

議案番号等	議案名 ( )内は議案の補足説明です。
報告4	専決処分の報告について(施設の管理瑕疵に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告5	専決処分の報告について(公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定)

### 新エネルギー 活用調査特別 委員会 活動報告 (要旨)

#### 調査テーマ

「持続可能な新エネルギーの活用について」

半田市は、知多半島の中の広域行政の役割を果たすため災害拠点病院の強靱化を図らなければならないことと併せて災害によって都市機能にダメージを受けても、早期に機能回復できるように備えが必要です。また、半田市が進めている工業団地の企業誘致に対して、新エネルギーの活用を掲げ、他市町と差別化を図っていくことが課題として挙げられます。

以上の課題に対し再生可能エネルギーの一步前進した活用として以下提言いたします。

一、ゼロカーボンシティはんだビジョンに計画されているゼロカーボン促進エリアにおいて、災害時の電

源喪失に備え、地域マイクログリッドの構築に向けた取組みを進めるべきである。

特に松堀町エリアにおいては新病院建設を控え、アークセス道路の誘導電源、また防災広場や災害発生時に対策の中心として機能するよう指定されている半田運動公園および知多南部総合卸売市場について強靱性の確保は急務である。

一、市内、公用車を含む電気自動車などの導入促進を行い、移動式蓄電池として災害時の緊急電源として整備を進めると共に、給電スポットには再生可能エネルギーによる充電を可能にするべきである。

一、石塚地区ならびに中徳田地区に計画中の企業用地には、進出企業に対し半田市のゼロカーボンシティはんだビジョンへの理解と賛同を推奨し、再生可能エネルギーの供給なども視野に入れた企業誘致を行うべきである。

一、いつ起こるかかわからない大規模災害から市民を

守るため、エネルギーコストの安定化を図り、また、知多半島のエネルギー政策をリードしていく気概を持って、知多半島初のエネルギー政策担当部門を編成し、市長をトップに置いた全庁的なプロジェクトとしてゼロカーボンシティを目指すべきである。

結びに、これからの半田市には、新エネルギーの活用都市を目指すことを前提とした施策の展開が必要であり、関係機関と共に取組んでいけるように行政としてその思想をしっかりと打ち出していく必要があります。本提言が、新エネルギー活用政策に関する建設的な議論に発展し、グローバルな世界観を持ち、専門性の高い知見を有する職員を始め、一人でも多くの市民が養成され、半田市の持続的な発展が実現されることを期待します。